



# ユース通信 vol.6

2025年度 4-9月活動報告

2025年9月発行

作成者：ユース・コーディネーター

前回の通信から間が空いてしまいました...。

2025年度前半のユースチームの活動についてお知らせします！

## アースデイ (4月)

4月20日、代々木公園で行われたアースデイ東京2025に参加しました。ユースとして、エシカル消費について考えるクイズと塗り絵を作成し、エシカルな食事についてのアイデアを募りました。



## LGBTI+勉強会 (5月)

4月と5月に、LGBTI+に関する勉強会をオンラインで2回行いました。トランスジェンダー、カミングアウトの選択、SRHR、家族のあり方などについてメンバーが発表し、ディスカッションが交わされました。

また、5月にはユース・コーディネーターとユース代表で、アムネスティ韓国とLGBTI+及びユース世代のオーガナイズिंगに関する情報交換を行いました。韓国のキャンペーナーとユース・アクティビスト・マネジャーとお話しし、日本に現存している法的な性別変更の際の「子なし要件」と呼ばれる条件が韓国にもあったが廃止されたこと、包括的差別禁止法が両国ともに未整備であることなどが話題にあがりました。また、ユースのオーガナイズिंगについて、ユース世代が何に関心を持っているかについてデータを集めることや、注目度の高い話題の中に少し人権を混ぜたコンテンツをSNSにポストするなどの取り組みを教えていただき、セーフガーディングの強化、楽しめる環境を作ることについて、重要性を再認識させられました。欧米よりは文化的に近く、共有する事柄の多い韓国のアムネスティから学ぶべきことは多いように思います。

## Tokyo Pride (6月)



6月7日、8日にはTokyo pride2025にユース・ネットワークメンバーら6名ほどが参加し、おすすめのクィアなコンテンツ、ジェンダー・セクシュアリティに関して日頃思っていることの共有をブースにて行いました。また、他ブースもめぐり、特に大学として出展している方々と交流しました。パレードにも参加し、渋谷の街を練り歩きました。

Tokyo Prideについて詳しくは、HPの活動報告の記事をご覧ください！

[https://www.amnesty.or.jp/hrc/2025/0715\\_10687.html](https://www.amnesty.or.jp/hrc/2025/0715_10687.html)



# 台湾総会 (5月)

5月23日から26日には、アムネスティ台湾の総会に参加させていただきました。総会とは、年に一回行われる、会員らが今後の組織のあり方やアクションについて話し合うビッグイベントです。

総会前日には、台湾、マレーシアのユースメンバーが集まるInternal Youth Seminarがありました。各国のユースチームの組織図、活動内容、課題意識について話し合いました。台湾では、ユース代表に対するガバナンス構造・国際人権メカニズムとキャンペーンスキルをレクチャーするリトリートや、学校の社会や英語の授業で#Write For Rightsのキャンペーンが行われ知名度上昇に貢献しているといった、日本にはない活動について教えていただきました。日本に関連して、国内の人権意識の希薄さ、社会運動への抵抗感、卒業後に人が離れる課題についても話し合いました。

総会は、for Publicとfor Memberの二部構成になっており、for Publicでは多様なパネラーが招かれ、二部屋同時進行で計6つのセッションが行われました。トピックは、市民の力による運動、死刑反対運動、ユース・エンゲージメント、難民法、グリーンコロナリズムについてでした。ユース・エンゲージメントのセッションは各国ユースによるパネルディスカッションの形式で行われ、日本のコーディネーターも登壇しました。

また、会場では、台湾華語と英語の同時通訳や字幕のようにモニターに文字起こしされるUDトークがあり、アクセシビリティへの配慮が見られました。

ユース世代の活発さ、アムネスティコミュニティの暖かさ、海外支部との繋がりの大切さを体感し、エンパワーされた総会でした。

<Internal Youth Seminarの様子>



<AMNESTY台湾事務所入り口>



<総会セッションの様子>



<同時通訳のブース>



<廊下にはケータリング>

## ユース入門セミナー (7月)

7月13日にはユース入門セミナーを開催し、7名が参加、その後数名が新しくユースメンバーとしてLINEグループに加入してくださいました。



## 民主主義×人権勉強会 (7月)

7月14日には、オンラインで民主主義と人権の勉強会を行い、6名が参加、内4名が韓国戒厳令、ポリッシュ・ド・マン、まちづくりなど多様な観点から発表を行い、ディスカッションが交わされました。

## ユース・シンポジウム参加 (8月)

8月22日から24日には、EAYSA(東アジア若手研究者会)さん主催のユースシンポジウムに参加し、ユースネットワークメンバー3名が、日本の難民政策、フィリピンの政治、日本のゲイ男性表象についてそれぞれ英語で発表しました。国内外活躍する若い世代の非営利組織や研究者とつながることができ、新たなネットワークが広がりました。



## 入管問題合同勉強会 (8月)

8月24日には、わたぼうし教室難民支援事業部さんと合同で、入管問題に関する勉強会を開催しました。難民申請者や仮放免中の当事者と直に関わってきた支援者の方々から現状を聞くことができ、大変貴重なお話でした。難民申請者に対する唯一の公的扶助である難民事業本部RHQ、経済支援（住まい、食料、医療）や法的支援をしてきた中での課題、活動を続ける原点などを伺いました。ブラックボックス化している入管や難民申請手続きについて、情報を資料としてまとめ共有していく必要性についても話題にあがりました。

入管問題とは？

— 支援活動の現場から —

2025年8月24日  
わたぼうし教室 難民支援事業部

# ユース総会開催 (9月)

9月6日夕方、7日には東京事務所にて第一回ユース総会を開催しました。プログラム内容としては、6日はみんなでピザを食べながら雑談する親睦会、7日は午前から夕方にかけて、Yes and...ワークショップ、民主主義×人権勉強会、ゲストスピーカー鈴木洋一さん（元アムネスティ理事、NPO法人Wake Up Japan代表）による社会変革に関するレクチャー、そしてグラウンドルール作成会という流れでした。総勢17名のユースが対面で参加し、親睦を深めるいい機会となりました。

## ＜ピザを囲んでの懇親会＞



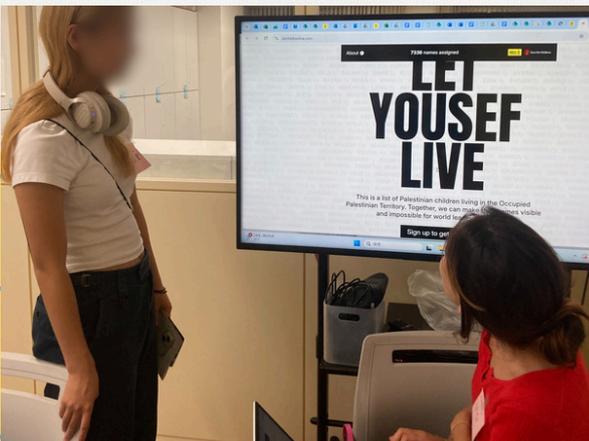
## ＜グラウンドルール作成会の様子＞

参加者で、アムネスティに関わらず、これまでミーティングやイベントに参加したときに困ったこと・モヤモヤしたこと、その解決策、そのほかグラウンドルールを機能させるために必要なことを皆で付箋に書き出しました。ユースの意見を踏まえ、ブラッシュアップしたグラウンドルールは今後総会等で、誰もが参加しやすい場作りのために文書化し、運用する予定です。

## ＜民主主義×人権勉強会＞



## ＜ガザに関するキャンペーンの紹介＞



## ＜集合写真＞

